

## 泉区 小学校 だより ③ いずみ野小学校



今年度も4～6年生が協力して田植えを行いました

いずみ野小学校では、地域の農家や保護者の協力を得てサツマイモや稲などの生産活動を行っています。低学年が取り組むサツマイモづくりでは、3年生が1年生に苗の植え方を教えるなど、上級生から下級生に経験を伝えながら収穫期を迎えています。高学年の稲作は、種もみから苗を育てる本格的なもので、創立当初から約40年続けられています。

毎年300キログラム程の収穫があり、その米を使って、地域や保護者のみなさんと一緒に餅つき大会を行い、交流を深めています。また「学び隊」として、4年生以上の希望者が野菜づくりを行っており、育てた野菜を給食の食材としても活用するなど、自分たちで育てたものを自分たちで食べる貴重な体験を積んでいます。

農と食に関する活動を通して、食を生み出し食べることの大切さを実感し、環境問題、食糧問題、食文化などさまざまな分野への学びへつなげていく、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育(ESD: Education for Sustainable Development)を進めています。

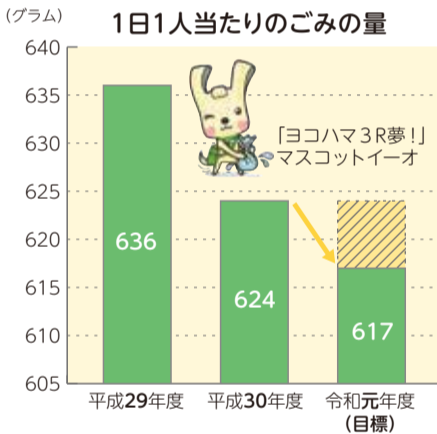
いずみ野小学校の活動など詳しくは



横浜市 いずみ野小 検索

問 広報相談係 ☎800-2335 fax 800-2506

## スリム 3R夢活動方針 ～令和元年度泉区の目標～



リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再生利用)の3R行動を推進し、環境負荷の低減や資源・エネルギーの有効活用と確保を目的とした「ヨコハマ3R夢プラン」を推進するため、泉区ではごみと資源の総排出量を1日1人当たりで換算し、昨年度より7グラム削減した617グラムを今年度の目標としました。

### 3R夢な暮らしのためのひと工夫

<b>生ごみの水切り</b> ぎゅっと絞って水分を減らす 	<b>食品ロスの削減</b> ●「冷蔵庫10(イーオ)・30(ミーオ)運動」 毎月10日と30日に冷蔵庫の在庫食材のチェック。余分購入の抑制 ●家庭の調理の工夫 食材丸ごと使い切り、適正な保存など 	<b>分別のさらなる徹底</b> 燃やすごみの中にある資源 ●分別対象の古紙 約10.5% ●分別対象のプラスチック 約5.1% ●缶・びん・ペットボトル 約0.9% 	<b>せんてい 剪定枝・草を乾燥させて排出する</b> 2日間乾かす*と重量40パーセント減 ※袋の口を縛らず、置いておく 
-------------------------------------	--	---	---

問 資源化推進担当 ☎800-2398 fax 800-2507

## 防災知識の泉

備えておきたい 防災グッズシリーズ①

### ～カセットコンロ～

大地震が発生すると、ガスや電気の供給が止まることが考えられます。家庭の地震対策の一つとしてガス停止に備えた備蓄を行いましょう。

ガスなどの停止に備え、カセットコンロを備蓄することで、家にある加熱の必要な食品を調理して食べることができます。あわせてカセットボンベの備蓄も忘れないようにしましょう。



カセットコンロがあれば、災害時にも米や乾麺やレトルト食品など日頃から買い置きしているものを調理して食べることができるぞん。



カセットボンベ1本で約60分使用可能だぞん。  
(使用する器具のガス消費量などによって異なります)

### ワンポイント

カセットコンロを活用して、冷蔵庫、冷凍庫、戸棚の中にある食材を傷みやすいものから食べることで、一定期間の食事をまかなうことができます。

問 危機管理担当 ☎800-2309 fax 800-2505

## 泉消防署からのお知らせ

高温、多湿の時期がきた! 熱中症に注意しましょう

今年もすでに熱中症が泉区内で発生しています。

熱中症はいつでも、どこでも、だれでもかかる危険性があります。

### 熱中症予防ポイント

<b>部屋の温度調節</b> 室内を適切な温度(自分が涼しいと感じる気温)に設定	<b>こまめな水分・塩分補給</b> 定期的にスポーツドリンクや経口補水液(食塩3グラム、砂糖40グラムを水1リットルに溶かしたものを)を補給	<b>日頃の健康管理</b> 栄養バランスのよい食事と体力づくりを
---	--	--------------------------------------

### 熱中症かなと思ったら

熱中症の症状(めまいや顔のほてり、立ちくらみ)が出たら、まず、

●涼しい場所に移動する ●衣服を緩める ●身体を冷やす ●水分を補給する  
 といった行動をとってください。それでも症状が改善されない場合は、「横浜市救急相談センター」への相談や、「横浜市救急受診ガイド」を活用し、緊急性を判断してください。(意識がない、呼びかけに反応しない場合は救急車を要請しましょう)

横浜市救急相談センター〈年中無休・24時間対応〉  
 #7119 または ☎232-7119

横浜市救急受診ガイド 横浜市救急受診ガイドで検索  
 パソコンやスマートフォンで急な病気やけがの緊急性を確認できます



泉消防署では、「現在の救急情勢」や「救急車適正利用」さらに「急なケガや病気への対応方法」の周知のため「救急講座」を実施しています。受講を希望する団体は、泉消防署へお問い合わせください。

問 泉消防署警防課救急係 ☎fax 801-0119